広報ふっさ
FUSSA
市の花・つつじ
平成20年(2008年)
4月1日　No. 756
発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行
ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

今号の主な記事

4面新庁舎が完成しました　5面後期高齢者医療制度が始まりました　6面狂犬病予防注射と新規登録のご案内
7面市民活動促進補助金受付開始　9面木造住宅の耐震改修費用の助成開始　10面福祉バスの運行が始まります

平成20年第1回福生市議会定例会における所信

福生市長　野澤　久人

野澤市長は、平成20年度予算案などを審議する第1回福生市議会定例会の初日、3月4日の本会議で所信を述べました。

本号では、その所信を市民の皆さんにお知らせします。

問合せ企画調整課企画調整担当

任期満了にあたって

平成20年第1回市議会定例会に当たり、私の所信を述べさせていただきますことを心から感謝申し上げます。私の2期目の任期も、余すところ僅(わず)かとなり、今議会が任期最後となります。

この間、第3期総合計画に基づき、自立した街、輝く街福生に向けて、市議会、市民の皆さんとともに、まちづくりを着実に進めてまいりました。お蔭様で、総合計画による施策、新たな施策とも順調に進んでおります。

残された短い任期ではございますが、この間些(いささ)かでも市政運営に停滞があってはなりませんので、全力を挙げて、職務を全うしてまいる所存でございます。

私自身、昭和37年に当時の福生町役場に奉職し、20年間の社会教育の仕事を経て、一般行政の仕事26年の内24年ほど、市行政、財政に関わる中心的な仕事をさせていただきました。

分権型社会での自立したまちづくりは、未だ道半ばではございますが、市民、職員の意識改革にも一定の前進が見られております。また、懸案(けんあん)でございました福生病院の建替えや新庁舎建設、拝島駅自由通路の整備などの主要事業につきましてもほぼ完了し、第4期総合計画の策定作業も始まっております。これらのことから、後進の方に道をお譲りする時期であるとの判断をいたし、任期満了に伴います市長選挙には出馬をしない旨、去る1月に表明させていただきました。

本来ならば、第3期総合計画の仕上げに向けての考え、平成22年度からの第4期総合計画策定の基本的な考え方などを申し上げなければならないところでございますが、次の市長に政策判断をお願いすることが望ましいと考えまして、ここでは遠慮させていただき、平成20年度予算についてのみ申し上げさせていただきます。

なお、平成20年度予算につきましては、骨格予算ということも考えましたが、現行の第3期総合計画、実施計画の継続性の視点から、総計予算主義の考え方に基づいて、年間を通して編成させていただいておりますので、ご理解いただきたくお願い申し上げます。

平成20年度予算について

自治体の行財政運営は、従来、国や都の施策に基づいて行えば良いという面が多くございました。しかし、グローバル社会、分権型社会では、国際情勢のなかでの日本の状況、その影響というものを考えねばならなくなっております。

地球環境の悪化、あるいはエネルギーの殆(ほとん)どを輸入に依存しているという日本の現状のなかで、私たち国民は、現在の国の行財政状況を十分に理解し、そして長期的視点に立った我が国の在り方を考える必要があります。人口減少時代に入った後世の日本、日本国民のことを考えた議論や良好な地球環境の維持を前提に「持続可能で発展をする社会」を実現するための行動が求められております。

このことは、市の行財政運営にも言えることであり、平成20年度の予算につきましては、第3期総合計画の推進、長期的視点に立った予算編成、財政運営の健全化を指針に編成をさせていただいたところでございます。

編成の考え方の一つは、不確実な社会状況のなか、市民、地域にとって最も有効な行財政運営を行うことが大切であり、そのための計画としての第3期総合計画を、急速に変化する時代に合わせつつ、着実に推進していくことであります。

二つには、長期的視点に立った、後世の福生市民に負担を残さない行財政運営であります。一層の行財政改革に取り組み、スリムな、そして身の丈(たけ)にあった財政運営をしていかなければならないと考えており、部単位での予算枠配分方式を継続実施いたします。

新年度での一般会計の予算規模といたしましては、201億9千3百万円と、対前年度予算と比較いたしますと10・6パーセント、23億9千万円の減となっており、その主な理由は、新庁舎建設事業の終了に伴う減額でございます。

市の現在の歳入状況を見ますと、この辺が基準になるだろうと考えておりますが、適切な政策選択を、後継の市長に今後行っていただければと考えております。

新しくなった市役所の庁舎

平成20年度の主要な事業について

大規模な継続事業としては、福生病院の建設事業、拝島駅の整備事業などがございます。また第二市営住宅エレベータ設置工事、市道幹線Ⅱ－18号線改良事業、太陽熱利用機器の設置を行う福祉センターのエコライトハウス事業がございます。これは、二酸化炭素削減を目的に、市民、事業者、行政の協働による福生スクラム・マイナス50％協議会が進めるエコライトハウス事業の対象事業でございます。

また、ソフトの部分では、議事録作成の効率化のための音声反訳(やくはん)議事録作成システムやインターネット議会中継の導入、自主的に環境保全の取り組みを進めるため、庁内環境に関する方針や目標等を自ら設定し、達成するための環境マネジメントシステム、LAS－E（ラス・イー）の導入などがございます。

少子化対策、子育て支援策としては、妊婦の方々の健康診査受診を促進し、母体や胎児の健康確保を図るため、妊婦健康診査の公費負担の拡充や妊産婦、新生児への訪問指導事業の拡充、また、年度途中での開設となりますが、市内保育園での病後児保育事業への取り組みなどがございます。

交通弱者の方々の移動手段の確保としては、福祉交通網の一翼(いちよく)を担う福祉センター送迎バスを活用した福祉施設等送迎バスの試行実施に取り組ん

2面へ続く

福生市長選挙の日程　投票日 5月11日(日)　期日前投票日 5月5日(月)～5月10日(土)　問合せ 選挙管理委員会事務局